

# 線形代数への招待 ～データ分析のための行列の計算と応用～

## 授業の目的と概要

数値データの集まりは、ベクトルや行列を用いて表現されることが多々ある。データサイエンスで用いられる手法の理論的な背景を理解するために必須となる線形代数の基本的事項を理解するとともに、小規模なサイズの行列に関する計算に慣れることを目的とする。その為に、ベクトルや行列に関する数学の分野である線形代数の基礎理論や計算手法を紹介する。

担当教員	経済学部 内藤 雄志 准教授
開講曜限	木曜日 2限 (10:30～12:00)
開講日	10月2、9、16、23、30
	11月6、13、20、27
	12月4、11、18、
	1月8、15、22
会場	彦根キャンパス
受講形態	原則として対面授業。オンラインで実施する場合には原則としてZoomを用いる。
教科書情報 (補足)	<p>講義資料は原則として毎週授業予定日の2日前の13時までに、SULMSに掲載する。対面授業を行うときには、希望者にはその回の分を印刷したプリントを配布する。</p> <p>投影資料は対面授業において講義資料の解説のためにスクリーンに投影する内容について、ほぼ全てPDF化したファイルを、授業終了後にSULMSに掲載する。</p> <p>参考文献一覧は必要に応じて講義資料やSUCCESSで指示する。</p>